



# おひさま

Vol.9

2015年8月



地方独立行政法人  
加古川市民病院機構  
Kakogawa City Hospital Organization

加古川西市民病院 Kakogawa West City Hospital  
〒675-8611 加古川市米田町平津384-1  
TEL:079-432-3531(代) FAX:079-432-3672

加古川東市民病院 Kakogawa East City Hospital  
〒675-0115 加古川市平岡町一色797-295  
TEL:079-437-2515(代) FAX:079-437-3806

## ●特命看護部長ごあいさつ

加古川市民病院機構 新病院開設準備室 特命看護部長：花岡 澄代

私は平成27年3月31日神戸大学医学部附属病院を退職し、平成27年4月より、加古川市民病院機構の新病院開設準備室に特命看護部長として着任しました。出身は山口県の錦帯橋で知られる岩国です。高校卒業後 神戸大学医学部附属看護学校で学び大学病院に就職し、看護管理者としては、看護師長13年、副看護部長8年を経験しました。大学病院だけの勤務経験でしたので、自分が加古川の地で新たなチャレンジをすることになるとは思ってもいませんでした。宇高理事長や大西統括院長の病院に賭ける熱い思いを伺い、是非新病院の看護部長として開院に携わってみたいと思い、この任をお引き受けすることを決断しました。地域機関の病院で勤務することは正直不安もありましたが、理事長、統括院長、中森統括看護部長をはじめ職員の方々に温かく迎えて頂き、多くの支援を受けながら3か月を経過することができました。

加古川市民病院は4年前に地方独立行政法人となり、西市民病院と東市民病院が統合され、平成28年度には「(仮称) 加古川中央市民病院」として新病院が開院します。その新病院の看護部長としてこれまでの看護管理者的経験を活かし、新病院での看護部をどのように組織化し目標とする看護をいかに実践していくか、今まさにその準備に邁進しています。

東西の病院は統合といっても実際はそれぞれの病院で診療を行っています。まだまだいろんな仕組みが異なっており、毎日組織の統合という課題に奮闘しています。

職員は、二つの病院が統合することへの不安を拭えません。例えば仕事がどのように流れていくのか、東西のやり方の違いに戸惑っています。見えないことへの不安は当然だと思います。私自身も不安はあります。しかし、新しい病院づくりは夢があり結構楽しく思っています。建築中の病院の現場に足を踏み入れた時は、わくわくして期待で胸がいっぱいになりました。二つの病院は統合して600床の新しい病院に生まれ変わります。新築で箱物も一新します。それぞれの病院の強みを活かし、統合することで弱みを解決できる絶好のチャンスだと思っています。また、新しい病院で繰り広げられる医療が、地域住民である患者さんやそのご家族の幸せに繋がるとすればそんな素敵なお仕事はないと思っています。

現在、病院執行部は医療従事者や事務職員などと一丸となって新病院開設準備に取り組んでいます。今まさに組織にとって変革の時です。人は変革から目を背けたくなりますが、むしろ変革を受け入れ前進することで人は成長できると私は信じています。

職員一人ひとりが新しい病院にむかって希望をもち、変革を受け入れ成長することで市民に信頼される病院づくりを実現できると思っています。

これからどうぞよろしくお願ひいたします。



## ●周産母子センター新生児部門の紹介

加古川西市民病院 周産母子センター副センター長(兼)小児科部長：森沢 猛

周産母子センター新生児部門：当院は平成12年に兵庫県地域周産期センターに指定され、東播磨、北播磨地域における新生児医療の中心的な拠点施設として、長年にわたり重要な役割を担ってきました。施設規模はNICU15床を含む42床で、現在、常勤新生児部門小児科医6名(周産期専門医2名)、後期研修医2名が診療に従事し、関連診療科と連携して多彩で重篤な新生児の集中治療に365日、24時間体制で従事しています。

平成26年度のベビーセンター入院症例は809例でした。そのうち出生体重2500g未満の低出生体重児305例(38%)(そのうち出生体重1500g未満の極低出生体重児は55例)、在胎週数37週未満の早産児が258例(32%)と早産、低出生体重児の入院が中心となります。成熟児においても黄疸、感染症、呼吸障害、新生児仮死、神経疾患など多様な疾患で入院加療を行っています。また、消化器疾患、染色体異常症、先天奇形症候群、先天性心疾患、未熟児網膜症、早産児の関節拘縮では、小児外科、整形外科、皮膚科、耳鼻いんこう科、眼科、口腔外科、リハビリテーション科など複数科との連携が可能で、院内で治療を完結できることも多く、将来的に、あらゆる新生児疾患に対応できる地域最終病院を目指しています。更に当院は、新生児搬送用専用救急車を有しており、地域の産婦人科医院、病院産婦人科におけるリスクの高い分娩への立ち会いや病的新生児の搬送も365日、24時間体制で行っています(平成26年度の搬送件数は170件)。

また、当院は母乳推進の10か条を守り、世界的な流れとなっている母乳育児の推進を行うBFH(赤ちゃんにやさしい病院)に平成17年に認定されており、産婦人科や看護部と協力して入院されている新生児の母乳育児を可能な限りサポートしています。また、院外より新生児搬送された児に対しても母乳シリンジを通して母乳育児を支援しています。

一般的に全出生児の10%は新生児蘇生が必要と言われています。当院では新生児蘇生法インストラクター6名を有し、新生児心肺蘇生法(NCPR)の講習会を年2回実施し院外公募も行い、院内のみならず地域の周産期施設への新生児蘇生法普及を通して、地域の新生児の発達予後改善にも貢献したいと努力しています。

外来ではベビーセンターを退院した児の発育発達のフォローを行い、これから人生を築いてゆく児の心身の健やかな成長と、その鍵となる両親の育児サポートに力を入れております。

新生児医療は人生のスタートとなる最初の瞬間に関わる医療であり、一生に影響を与える非常に責任重大な領域と認識しています。今後もあらゆる関連業種の方々と緊密に連携し、地域の新生児医療を中心となって支えてゆくため全力で頑張って参ります。どうかご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

▶左上より

佐藤医師、大山医師、大西医師、横田医師、市川研修医  
森川医師、森沢医師、先濱医師、上田医師



## ●麻酔科の紹介

加古川西市民病院 麻酔科 主任医長(兼)中央手術室室長：牛尾 将洋

当院では、1000gを下回る新生児から90歳超の高齢者まで幅広い年齢層の方が手術を受けに来られます。対応疾患は外科、産婦人科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、小児外科、眼科など多岐にわたって手術麻酔に対応しており、定期手術のみならず、緊急手術にも対応しております。



ところで、手術は人体に加わる人為的な侵襲で最も大きいものです。麻酔はその侵襲を抑え、呼吸・循環・体液管理を行なながら人体の恒常性を維持し、人為的に疼痛を抑えることで、手術が可能な状態にしておくことです。しかもこれらの変化を可逆的に行う必要があります。また、同時に最適な手術環境を提供する必要があります。そのためには、患者さんの術前の評価が非常に重要になってきます。既往歴、心肺機能、アレルギーの有無など患者さんの状態を的確に把握し、全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎麻酔、神経ブロックのいずれかもしくは組み合わせで麻酔を行うか判断し、麻酔計画を立てていきます。手術中は、術野を見たり、各種モニターを監視したりしながら患者さんの状態を把握し、術後には、循環・呼吸・疼痛をコントロールして急性期を乗り切ります。

最近では、高齢者が増えていることもあり、抗凝固薬の中止が難しい患者さんが増えてきており、硬膜外麻酔に代わり、超音波ガイド下末梢神経ブロックを併用して術後鎮痛を図る例も増えてきております。また、全身麻酔による脳発達の影響や術後認知機能への影響などについて研究されており、術後のことも意識して麻酔をかけております。

麻酔科という特性上、地域の先生方との直接的な関わりはありませんが、先生方からのご紹介で来られた手術患者さんを術前の状態で帰っていただけるよう、また緊急手術が必要な患者さんに対しては迅速に手術ができるよう取り組んでおりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

## ●患者さんと向き合える看護を目指しています

加古川西市民病院 手術室 看護師長：上田 ちよみ

当院手術室は、BCR2室を含む8室の手術室があり、平成26年度は4531件の手術が行われました。スタッフ数は、師長とケアアシスタント1名を含む計27名で、安全で安心な手術室看護が提供できることを目標に日々、頑張っています。



手術室では、全身麻酔や脊椎麻酔で手術を受けられる15歳以上の患者さんを対象に術前訪問を行っています。麻酔や手術に対する不安を和らげ、少しでも安心して手術当日を迎えるよう努めています。また、患者さんや家族と直接話することで術中看護に必要な情報を収集し、手術が安全に進行、終了できるよう、個別性のある看護計画の立案につなげています。

環境にも配慮し、前室から音楽が流れていますが、各手術室では患者さんのリクエストに沿った音楽を流し、リラックスできるようにしています。また、手術室の壁が落ち着いたピンク色の部屋が2室あり、緊張を和らげる効果に一役買っています。

手術が終了し患者さんが退室したあとも、手術室看護は続けます。術中の看護の振り返りと評価を行い、問題と思われる内容と患者さんの状態に合わせて、手術翌日から数日後に術後訪問を行っています。この訪問により、自分の行った術中看護がどうであったかの最終評価を行うとともに、今後の看護に活かしています。

チーム医療が重要である手術室において、それぞれの職種の専門性を発揮してより安全で良質の医療が提供できるよう、手術室看護師としての役割と責任を果たしていきたいと思っています。

## ●心臓血管外科の紹介

加古川東市民病院 副院長 兼 心臓血管外科主任科部長：大保 英文

神鋼加古川病院時代の平成17年10月に当心臓血管外科が開設されてから約10年になりました。開設以来、症例数は開心術800例、腹部大動脈瘤を含む末梢動脈手術500例を超えるました。平成21年導入のステントグラフトも130例と順調に症例を重ねてあり、末梢血管のチーム医療も順調に運営されています。当科がここまでやって来られましたのも、地域の皆様のご支援のおかげと感謝しております。

昨年は右小開胸によるMICS(低侵襲手術)を開始いたしました。今年は胸部大動脈瘤手術におけるオープンステントを導入いたしました。来年秋には新病院へ移転しハイブリッド手術室も運用が開始になる見込みです。また移転後は周産母子センター、こどもセンターから発生が予想される先天性心疾患症例に対しても、何らかの応援ができるかと考えております。

心臓外科医3名の小さなチームですが、新しい技術は積極的に導入し、地域の医療が時代に取り残されることがないようにと考えております。今後ともこれまで通りご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



脇山医師

大保副院長

泉医師

## ●薬剤部の紹介

加古川東市民病院 薬剤部次長：石坂 忠博



平成25年7月に医薬分業となってからは、当院薬剤部はそれまで以上に病棟業務に力を注いでいます。ICT、NST、DM、心不全、褥瘡回診などの病棟ラウンドに加え、ICU、外科、口腔外科、小児科などの病棟カンファレンスにも積極的に参加し、チーム医療の一員としての役割を果たしています。患者支援センターでは、全ての予約入院患者について持参薬確認がなされ、プロトコールに基づく術前・検査前の休薬指示を薬剤師が行うことにより、医療安全にも貢献しています。

また電子カルテの標準機能ではカバーしきれない、検査数値と連動した処方監査システムも独自に構築しており、入院・院内処方だけに留まらず院外処方に対してもチェックを行っています。こういったシステムを利用した処方監査は、院外処方も含めさらに発展させていく予定です。薬物療法を通じて、今後もさらに地域と連携をとていきたいと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

## ●臨床検査室の紹介

加古川西市民病院・加古川東市民病院 臨床検査室 統括室長：秋篠 達也

検査室の名称は「中央検査部」、「研究検査科」等病院施設により様々ですが、当加古川市民病院機構では「臨床検査室」に統一されています。もっとも、私たちの職名が「臨床検査技師」ですので、そうした名称が相応しいかも知れません。

さて、当検査室では、東西合わせて45名の職員が在籍していますが、専門分野毎に血液、生化学、免疫、輸血、一般、細菌、病理、生理機能等に分かれています。また、それぞれの分野には認定検査技師等エキスパートやスペシャリストを配置していますが、全てのスタッフに共通する点は患者さんのための検査、つまり『臨床検査』を常に意識していることです。採血や生理機能検査を除き、患者さんにお目にかかる機会は少ないですが、私たちは、これからもプロフェッショナルとして、より早く、より正確に、そしてより安全な臨床検査を提供できるように心がけて参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



## ●NST(栄養サポートチーム)の活動紹介

加古川東市民病院 栄養サポートチーム：鎌田 好己

当院NST(Nutrition Support Team)栄養サポートチームは医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、言語聴覚士、社会福祉士、管理栄養士が集まり、チーム介入が必要な患者さんに対して毎週火・木曜日にNSTカンファレンスを行っています。先ず、栄養状態の評価を行い、患者さん(家族)の



意向と主治医の治療方針に沿って栄養管理計画の提案、栄養状態の改善を目的に活動しています。現在の主要な介入依頼は輸液・経腸栄養剤の内容検討、静脈栄養から経口・経腸栄養への移行です。

平成27年度より言語聴覚士が加わり、嚥下評価・経口訓練等のサポート体制を強化しています。今後とも治療のサポートとしてチーム活動を行って参ります。皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

# ●外来診療表(加古川西市民病院)

平成27年8月1日現在

新患受付 8:00~11:00 再来受付8:00~11:00

※日程表は随時変更がありますのでご留意ください。

曜日	月	火	水	木	金		
科名	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
総合内科	鎮西	白木(大西) (検診二次)		鎮西 (高血圧)	宇高(葉) (検診二次)		宇高● 石川(西馬) (検診二次)
糖尿病内科	高山		樋谷	浜口●		樋谷●	樋谷
総合内科	西澤● (消化器)			名村●		山根● (リウマチ・膠原病)	西澤● (消化器)
消化器内科	田村● 長谷川		古松● 中村●	久禮● 孝橋●		寺尾● 山城	當銘
呼吸器内科	西馬●		植田●	竹中●	禁煙外来(2週毎)	西馬●	植田●
循環器内科			大西●	白木●	石川●	白木●	
腫瘍・血液内科	岡村		川本	岡村	岡村	岡村	
リウマチ・膠原病科	田中●		山根●		葉	田中●	葉●
腎臓内科			泉		西(第4)		
フットケア外来		担当医		担当医		担当医	担当医
緩和ケア外来				担当医			
	検査	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡
精神神経科	診察	担当医●		担当医●		担当医●	担当医●
		1.河野 2.吉住 3.蓬莱		1.西村 2.吉住 3.船山		1.河野(物忘れ外来) 2.内藤 3.松山	1.河野 2.吉住 3.新光
放射線科	検査	新開 心理検査(予約)				増田 心理検査(予約)	
	検査	土師	診察はありません	清水	土師		土師
	検査	放射線治療		特殊撮影	特殊撮影	特殊撮影	特殊撮影
小児科	検査	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT	MRI・CT
	診察	1.親里● 森川 発達フォローアップ	1.西山● 横田 発達フォローアップ	1.沖田● 西山 代謝	1.植林● 森沢 発達フォローアップ	1.米谷● 植林 アレルギー	
	診察	2.中尻 森沢 発達フォローアップ	2.米谷 沖田 小児神経	2.森川 親里 小児神経	2.中尻 予防接種	2.親里 親里 小児神経	
	検査	3.橋本 西山 内分泌	3.植林	3.平田	3.平田 米谷/大西 発達フォローアップ	3.沖田 橋本 アレルギー	3.中尻 小児神経
	検査	4.澤 村田 神経発達	4.榎原 平田 アレルギー	4.永瀬	4.永瀬 乳児検診 シナジス外来	4.大西 野津 腎臓	4.橋本 西山 在宅医療
外科	1.金田● (肝胆脾外科外来)	1.金田	1.担当医●	1.金田● (肝胆脾外科外来)	1.原田●	1.酒井●	
	2.布施		2.西村	2.森本	2.裏川	2.谷	
	3.西原● (乳腺外来)			3.西原● (乳腺外来)			
小児科	久野●	安福(予約)	久野● (予約のみ)	手術	安福●	安福(予約)	久野● (予約のみ)
整形外科	新患	担当医 10:30まで	手術	福田●	代診	奥町●	齋藤●
	再来	再来診察はありません。		奥町	再来診察はありません。		
脳外科	石原●		石原●		石原●	石原●	診察はありません。
産婦人科	1.川口 2.房	1.障子	1.藤井	1.障子	1.山田隆	1.房	1.太田
	3.山田隆●	手術	2.太田 超音波	2.上田	2.上田	2.山田愛	2.山田隆
	助産外来	3.山田愛● (1・3・5週) /上田● (2・4週)	/上田●	3.川口●	手術	3.太田●	3.担当医●
耳鼻科	安井 蓼原 10:30まで	手術	安井● 蓼原	安井● 蓼原(予約)	安井● 蓼原●	手術 (1診のみ) 代診医	安井● 蓼原
眼科	1.原● 2.盛 3.下山 4.辰巳 (小児手術)	子供外来 (田岡/樋谷/辰巳)	1.樋谷● 2.田岡● 3.別所 4.藤岡 (第1.3.5) 糖尿病外来 (第2.4) (手術)		1.下山● 2.盛(11:00~) 3.原 (第1週は休診) 4.藤岡 (硝子体注射)	検査 手術 (手術) レーザー治療	1.下山 2.樋野 3.別所● 4.藤岡 (手術) レーザー治療
					1.下山 2.樋野 3.別所● 4.藤岡 (手術) レーザー治療	コンタクト(下山) 術前検査 手術 レーザー治療	1.別所 2.樋谷 3.原● 4.藤岡 (手術) レーザー治療
							術前検査 未熟児眼底 レーザー治療
泌尿器科	担当医●		担当医●			担当医●	
	岡	検査	安福	検査 第2・4 ED外来	手術 (診察はありません)	岡	検査
皮膚科	1.山田●	検査	1.山田	検査	1.山田●	1.山田	1.山田●
	2.五木田		2.五木田●		2.五木田	岩谷(形成外科) (2.4週)予約のみ 検査	2.五木田

インターネット予約枠 ●病診連携医師

★診療の都合上、診療医が変更となる場合がありますのでご了承ください。

※精神神経科の初診受付は完全予約制になります。

# ●外来診療表(加古川東市民病院)

平成27年8月1日現在

科	診察室	月	火	水	木	金	
内 科	11	午前	安田	中村	清水	笠原	角谷
		午後	*	中村 末梢血管外来	清水	笠原	角谷
	12	午前	寺尾 消化器内科	担当医 消化器内科	山城 消化器内科	佐藤 消化器内科	担当医 消化器内科
		午後	*	*	*	羽間 呼吸器内科	*
	13	午前	高見	本多	中村	古田 高血圧外来	嘉悦
		午後	高見	本多	*	*	*
	14	午前	中西	安田	辻	本多	山名
		午後	*	*	*	後藤 腎臓内科	*
	16	午後	*	*	山根 リウマチ科	*	*
	21	午後	梅澤 呼吸器内科	*	*	*	*
	22	午後	*	担当医 予防接種 12:30~	*	*	*
	23	午前	*	藤井 腎臓内科/第2のみ	*	*	*
		午後	松岡	*	*	*	*
	25	午後	*	笠原	*	*	*
	27	午前	宇高 予約のみ	*	*	*	*
	33	午前	清水	藤岡 脂質異常外来	鷲田 神経内科	神野 糖尿病外来	*
		午後	清水	角谷	大西 裕	芳野 糖尿病外来	古和 神経内科
	37	午前	担当医 弁膜症外来	*	中岡	大西 祥 予約のみ	*
		午後	*	*	*	担当医 ペースメーカー外来	*
	83	午前	吉川 腎臓内科	*	*	*	*
小児科	72	午前	佐々木	谷中	井上	谷中	三舛
			三舛 10:00~	井上 10:00~	佐々木 10:00~	三舛 10:00~	佐々木 10:00~
			*	*	*	*	*
	72・74	午後	*	藤本 72	*	藤本 74	*
			谷中 アレルギー外来 14:30~16:00 74	*	谷中 喘息外来 14:30~16:00 74	井上 心・肝・腎 14:30~15:30 72	担当医 乳児検診 14:00~15:00 74
			井上 夜尿症外来 76 14:30~16:00	吉田 夜尿症外来 76 第1・3週 14:30~16:00	*	佐々木 神経外来 76 14:30~16:00	担当医 予防接種 72 14:30~16:00
外 科	21	午前	原田 直	酒井	酒井	金田	金田
整形外科	25	午前	西山	*	西山	織邊	西山
	26	午前	原田 義	*	織邊	熊谷 宏	熊谷 宏
	25	午後	*	*	西山 股関節外来	*	*
形成外科	22	午前	北野	*	北野	*	北野
	23	午前	岩谷	*	岩谷	*	岩谷
	22	午後	*	北野	*	*	*
	23	午後	岩谷	*	前田 第2・4	*	*
心臓血管外科	27	午前	*	大保	*	脇山	*
	27	午後	*	大保	*	脇山	*
	22	午前	*	*	*	大保 9:00~10:00	*
	25	午後	*	*	*	泉 智	*
産婦人科	83・84	午前	*	山下	*	長又 予約のみ	*
《乳癌検診》	83	午後	*	*	*	泉 乳癌検診	*
歯 科 口腔外科	91	午前	柚島 石田・辻 (松田)	橋・柚島 辻・松本 (松田)	橋 柚島・石田 (松田)	長谷川	橋・石田 辻・明石 (松田)
	91	午後	橋・柚島 石田・辻 (松田) 14:00~	橋・柚島 石田・辻 (松田) 14:00~	柚島 石田・辻 (松田) 14:00~	長谷川 14:00~	柚島 石田・辻 (松田) 14:00~
放射線科			中村	中村	中村	中村	中村
眼 科	75	午後	*	*	*	担当医 入院患者のみ	*
						木曜日 受付 (入院患者のみ) 12:45~13:45 診察 13:00~14:00	

※※は診察がありません。

※ の部分が変更箇所です。

※人間ドック 脳疾患検査(月~金)13:00~

※( )は研修医です。

肺癌検査(木・金)13:00~

# ●市民公開講座を開催しました

## ◇市民健康セミナー開催 (加古川東市民病院)

平成27年6月13日(土)に「いろいろな心臓の病気について知っていますか!」のテーマで第8回市民健康セミナーを開催しました。

座長の いちかわ内科循環器科院長 市川靖典先生から、「病院とかかりつけ医の役割分担」「急性期病院から安定したらかかりつけ医へ」「一患者二人主治医制」について、とてもわかりやすく講演をしていただきました。また東市民病院からは3名の医師が講演をしました。

大西医師は「高血圧予防」について、中岡医師は「心筋梗塞にならないために、なった時、なった後」について、脂質異常症を中心に日常生活で注意することを具体的に説明し、どちらも自覚症状がないため、早期からの生活習慣を改善していくことが大切であることを伝えました。大保副院長は、動脈硬化症を中心に「狭心症、心筋梗塞」「大動脈解離」「閉塞性動脈硬化症」「大動脈弁狭窄症」の心臓疾患について、動脈硬化の予防の大切さを伝えました。今後も市民のみなさまに、健康維持に役立つセミナーを開催していきたいと考えております。



## ◇市民健康講座開催 (加古川西市民病院)

平成27年6月28日(日)に「熱中症の予防と対応について」のテーマで平成27年度第1回市民健康講座を開催しました。

今回は講師に、加古川市消防本部警防課 高度救急担当副課長 奥村 昌宜様から「救急現場から」、はるか訪問看護ステーション 管理者 北田 晴美様から「地域の看護師から」、加古川西市民病院 救急科 切田医師から「熱中症について」と題して、熱中症の予防と応急処置の方法、救急車を呼ぶタイミングと到着までの対応、嚥下機能が低下した高齢者への水分補給の方法などを、それぞれ専門の立場から分かりやすくお話ししていただきました。

これからも皆様に健康で安心して暮らしていただけるように、市民健康講座を通して情報をご提供させていただきます。



# ●加古川西市民病院の診療案内

## ◇形成外科について

平成27年6月より、加古川西市民病院にて形成外科(第2・第4木曜日午後:加古川東市民病院 岩谷 博篤医師)の診療を開始いたしました。

熱傷、顔面外傷、先天奇形など、対象範囲・疾患を多岐に渡り治療を行っております。

インターネットによる加古川西市民病院 形成外科の予約受付を開始しましたので、ぜひご活用ください。

## ◇腎臓内科について

平成27年9月より、加古川西市民病院にて腎臓内科(第2火曜日午前:藤井 秀毅医師、第4水曜日午後:西慎一医師)の診療を開始いたします。

蛋白尿や血尿などの検診異常や腎機能低下など、腎臓疾患が疑われる患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。

第4水曜日午後	西 慎一 医師	神戸大学医学部附属病院 腎臓内科教授 腎臓内科診療科長、腎・血液浄化センター センター長
第2火曜日午前	藤井 秀毅 医師	神戸大学医学部附属病院 腎臓内科診療科長補佐(医局長)



### 加古川西市民病院 地域連携室

TEL (079) 434-2059(直通)  
FAX (079) 434-2033(直通)

### 加古川東市民病院 地域連携室

TEL (079) 437-3285(直通)  
FAX (079) 437-3286(直通)